

子育てサロン 「ひよっこ」

令和4年6月から
10組限定の人数制限付きで再開

特集

コロナ禍、登戸地区のどの団体も2年間の
休止を余儀なくされました。コロナ禍も3年
目となり、コロナに配慮しつつ活動を再開し
た団体や部会を紹介します。

ミニデイケア 「にっこり会」

令和4年4月から
コロナ感染の十分な対策を行い再開

子育てサロン「ひよっこ」は登戸地区民生委員児童
委員協議会が主催している子育て支援の取り組みです。

毎月第三火曜日に開催していましたが、コロナ禍で
の開催は中止を余儀なくされてきました。

令和4年6月よりサロンの密をさけるため人数を1日
10組に制限して再開。募集方法はネットでの申し込み
に限定、応募期間が短かったにもかかわらず、多数
の方からの応募があり、抽選という結果になりました。

再開後、利用者が集まるか不安を抱えていたスタッ
プたちは、多くの利用者が再開を待ち望んでくれてい
たのが分かり、安堵したとのことでした。

取材に訪れた10月の「ひよっこ」では工作・誕生
会・栄養士による歯磨き講習では、乳幼児の嚥下につ
いてのお話があったり・ふうせん遊び、ウクレレに合
わせて歌うなど、盛りだくさんのスケジュールでした。
参加者が楽しんでいる様子が見て取れ、とても微笑ま
しい光景となっていました。

「ひよっこ」の特色のひとつに、主催団体の民児協
の主任児童委員が中心となり、現役の保育士も含まれ
る幅広いスタッフの充実があげられます。また行政か
らは保育士や栄養士の支援、ボランティアとしてカウ
ンセラーや元保健所の保健師といったメンバーが子育
てに関わる悩み相談を常時受け付けている点が上げら
れます。



▲乳幼児もウクレレに合わせて身体を動かす



▲布を上下して浮かび上がる風船に親子は大喜び

参加したママた
ちは、★子どもを
持つ仲間との出会
いができてよかつ
た。★初めての育
児と夜泣きにスト
レスを抱えながら
頑張っていたので
よい息抜きができ
た。★カウンセラー
がいるので育児相
談ができてよかった。★引っ越してきたばかりで土
地勘がなく「ひよっこ」に出会えて色々な情報を得
られてよかった。などが聞かれました。「ひよっこ」に
集う理由はいろいろあるようです。



▲栄養士さんから歯磨き講習

「ひよっこ」は地域の子育てサロンとしての役割を
担って、これからも子育てに頑張っているママやパパ
を応援し続けて行くサロンです。

子育て中の「ママ・パパ」参加してみても…

にっこり会は高齢者の方々に楽しいひとときを過
してもらいたい場として、「登戸老人いこいの家」
で毎月最終月曜日に行われています。「にっこり会」
の参加には「老人いこいの家」から遠方の参加者も一
人で参加できるように送迎が基本で、自宅前から「登戸
老人いこいの家」まで運転士と助手の2名が社協の車
で送迎をしています。

「にっこり会」の発足は24年前に遡り、現登戸地
区社協吉田紀代子会長が、保健所からの依頼で保健所



▲朝は元気にウォーミングアップの体操から

が扱っているデ
イケアとは異な
る、地域が行う
高齢者ケア「ミ
ニデイケア」を
行ってほしい。
と要望を受けた
のが始まりでし
た。



▲お手玉を使った玉入れを楽しむ井上雅江さん

コロナ禍以前は昼食付きで午前10時～2時迄でした
が2年間の休止を経て、昨年の4月からコロナ感染の
十分な対策を行い、昼食無しの2時間短縮の12時終
了で再開しました。



▲中央右、にっこり会会長吉田さん、
中央左、B班班長三浦さんとスタッフのみなさん

取材に訪れた10月
31日(月)の参加者は6
名で、78歳から93歳
までで平均年齢は86歳
全員女性でした。運営
にあたるスタッフは会
場の人数制限をうけ、A班・B班に分かれてひと月交
代(今回はB班が担当)の9名と、包括支援セン
ターから派遣されている保健師1名の合計10名で
趣向を凝らした内容の活動をしていました。



▲運転の吉澤さんと助手の小塚さん

この日は★健康チェック(血圧測定)に始まり、★自
己紹介 ★体操 ★ハーモニカ演奏による季節の歌
★ミニ運動会(お手玉を使った玉入れ) ★頭の
体操(なぞなぞ)などなど盛り沢山。

参加者(利用者)複数から「にっこり会」に来る
のが楽しみ。の聲がきかれ、86歳の参加者は「にっ
こり会」に入会してから元気になり、今は巣鴨まで
行ったり、映画を観に出かけていると話され、この
会を楽しんでいる様子が伝わってきました。24年前
の目標、地域に根ざした「ミニデイケア」構築の実
現は果たされたようです。